

## 鹿児島の昆虫 77

## ボウランの花粉を運ぶ昆虫

昆虫担当 中峯 敦子

## 花粉を運ぶ

被子植物の多くは、実や種子をつくるために、昆虫に花粉を運んでもらって受粉しています。花粉を運ぶ昆虫は、ポリネーターとか花粉媒介昆虫、送粉昆虫とよばれます。

植物は花から蜜を出したり、花を目立つ色、形にしたりして進化させてきました。その結果、昆虫は花粉を運ぶ報酬として、花粉や花蜜えさにありつくことができ、植物はより確実に受粉できます。



スジグロシロチョウとウツギの花

## ボウランを訪れる昆虫

鹿児島の歴史ある公園や学校にはクスノキが多く植栽されています。このクスノキの幹には、ノキシノブやイタビカズラなどとともにボウランが着生することがあります。ボウランはランの一種で、本州以南から中国南部、台湾にかけて分布しています。6月～7月末に黄緑色に濃い赤紫色の唇弁（しんべん）をもつ小さな花を咲かせます。



ボウランの花

沖縄での研究では、ボウランの花にリュウキュウツヤハナムグリ(以下リュウキュウ)のオスが集まることから、後に花の匂い成分がメスの性フェロモンと同じ物質だということが分かりました。リュウキュウオスを集めて花粉を運ばせるボウランの作戦が解明されたのです。

## 鹿児島のポリネーター

一方、鹿児島では、どんな昆虫が来るのでしょうか。2023年7月23日。博物館近くの照国神社に出かけました。



ボウランの花にやってきたシロテンハナムグリ(上)

頭部にボウランの花粉塊(→)を付けたシロテンハナムグリ(下)

神社のボウランに来ていたのは、シロテンハナムグリ(以下シロテン)でした。採集してみると、頭部にボウランの花粉塊(花粉が集合したもの)をしっかりと付けており、花の奥に頭を突っ込んだことは明らかです。

ボウランは、匂いととともに花蜜を出します。シロテンはきっと、花の奥にある蜜をなめに来たに違いありません。それならば、オスもメスも集まるはずですが、残念ながら写真のシロテンは、撮影後に逃げてしまい、雌雄は分らずじまいでした。

ボウランの今年の花期は終わりました。鹿児島でのポリネーターは未だ詳しく分かっていません。来年の調査に期待しましょう。